

錦江に生きている

にじゅうはちにん目

山下 やました 直樹 なおき さん

(表木自治会)



営業中の直樹さん。(カメラのせいかもしれないが表情が硬い)



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。
第28回目は、表木自治会の山下直樹さんです。

「僕、被写体としてはあんまりよくないんですけどいいんですか？」取材のアポイントを取った時の第一声だった。この質問をしたのは山下直樹さん。

直樹さんは田代地区に居住しながら鹿児島市内の旅行代理店に二時間かけて通っている。どうして鹿児島市内に住まないのですかと質問してみると「実は2年前に父が他界したんです。そのショックで母も体調を崩したので妻に相談すると、『田代に帰ってお義母さんと一緒に住もう』と言ってくれたんです。私も同じ気持ちだったのと、もうひとつ、子どもたちを私の育った田代の学校に通わせたいので田代に帰ってきました。」と答えた。きつくないですか？とさらに質問すると、「好きな仕事して、家族みんなで田代で生活していることがすごく幸せなんです。ぜんぜん苦にならないです。」と嬉しそうな表情を浮かべた。さらに、ずっと鹿児島市内まで通うんですか？と少し意地悪な質問をすると、「実は、将来的には田代で農業もしたいんです。で

もまだまだ先の話ですけどね…。隠居してからのかな。それまでは家族の為に、何往復だってしますよ！」と力強く答えた。

直樹さんは、地域活動にも積極的に参加しており、出来るだけ仕事のスケジュールを地域行事に合わせている。直樹さんいわく「旅行シーズン等はどうしても(旅行の添乗業務で)田代にいる時間が少なくなるので、それ以外は多少無理してでも地域の人たちとふれあったり、微力ながら協力していきたいんです。」と照れくさそうに話した。

直樹さんに趣味を尋ねると、「趣味…。趣味…。趣味…。」とのこと。本人はあまり自覚してないようだが趣味は仕事と家族です。と言っているように感じた。家族思いの直樹さんを垣間見た瞬間だった。

最後に一言お願いすると「嫁に」と、前置きした後「母のそばにいてくれてありがとう。」と一言だけ話した。

家族思いの直樹さんは、これからも田代で生き続ける。

編集後記

- 発行 錦江町役場
- 編集 企画課
〒893-2392
鹿児島県肝属郡錦江町城元963
☎0994-22-3032
FAX 0994-22-1951
- 錦江町ホームページアドレス
<http://www.town.kinko.lg.jp>

●新型インフルエンザが猛威をふるっています。日本でも死者が出るなど脅威となっています。月並みですが「手洗い・うがい」をするなど予防に努めましょう。

●今年も「KKBふるさとCM大賞」に応募する作品を制作しました。通常の業務の間を縫って5名で制作しましたが、毎年のように無理難題を押し付けてしまう私に製作スタッフは鬼を見るような視線を降り注いでいました。その視線に耐えられなくなった私は、いつしか見ているように絶対に焦点を合わせない術をマスターしました。CMの中身についてはテレビ放映を楽しみにしていってください。

●運動会シーズン到来！9月から10月にかけて町内でも多くの運動会が開催されます。毎年、この時期になるとアキレス腱を切ったとか肉離れを起こしたとかとても痛そうな話を耳にします。そうならないよう十分に準備運動など行ってから運動会に臨みましょう。私も二か月前から毎日かかざすイメージトレーニングを行っています。